

令和4年2月定例教育委員会議事録

開 閉 日 時	令和4年2月17日（木） 午後1時30分開会 午後3時39分閉会	
開 催 場 所	志木市役所第1庁舎 教育長室	
委員の出席状況	出 席	柚木博教育長、八代豊教育長職務代理者、 岩澤千恵子委員、上野幸子委員、飯田昌利委員
	欠 席	なし
説明のため出席した者の氏名・職名	北村教育政策部長、成田教育総務課長、島村教育政策部次長兼学校教育課長、土崎生涯学習課長、浅見市長公室理事兼秘書政策課公共施設マネジメント推進室長、平間秘書政策課公共施設マネジメント室主査	
会 議 書 記	浦野教育総務課主任	
傍 聴 人	0人	
会 議 内 容	<p>議 題 第3号議案 県費負担教職員人事の内申について</p> <p>協議事項 令和4年度志木市教育行政重点施策（案）について</p> <p>その他</p>	

審議内容（発言者、発言の要旨）

○柚木教育長

令和4年2月定例教育委員会会議の開会を宣す。

議事録署名委員に岩澤委員を指名した。

会議書記に浦野主任を指名した。

1月定例教育委員会議事録を各委員に諮り、承認された。

◎教育委員会報告

○北村教育政策部長

令和4年1月定例教育委員会以降の教育委員会の主な動きを報告する。

- ・ 2月 1日 定例庁議
- ・ 2月 2日 令和4年度新規事業協力依頼（慶応志木高校）
朝霞地区教育委員会連合会研修会
- ・ 2月 3日 志木市いじめ防止対策委員会
- ・ 2月 4日 教職員人事評価校長達成状況申告面談
- ・ 2月 9日 教職員人事評価校長達成状況申告面談
- ・ 2月10日 教職員人事評価校長達成状況申告面談
- ・ 2月 7日 校長会（中止）
志木第三小学校給食室工事完了市長視察
- ・ 2月 8日 定例庁議
公共施設マネジメント計画本部員会議
中心市街地活性化基本計画策定委員会
- ・ 2月14日 南部教育長会議及び南部教育長協議会（ZOOM会議）
- ・ 2月15日 令和4年度新規事業協力依頼（県立志木高校）
埼玉県文化財保護協会優良団体（宿組囃子連）表彰に伴う表敬訪問
人権教育懇談会（ZOOM会議）
議員説明会

教育長発議

○柚木教育長

第3号議案 県費負担教職員人事の内申については、人事案件であるため、志木市教育委員会会議規則第5条第1項第1号の規定により会議を公開しないことを発議する。

教育長の発議を受けて、採決した結果、第3号議案については、志木市教育委員会会議規則第5条第1項第1号の規定により、会議を公開しないことを議決した。

○柚木教育長

第3号議案については、非公開案件であるため会議の最後に審議することとしてよいか。

○全委員

了承する。

○柚木教育長

本日は非公開案件があることから、次第6協議事項より説明を求める。

◎協議事項 令和4年度志木市教育行政重点施策（案）について

○柚木教育長

令和4年度志木市教育行政重点施策（案）について、説明を求める。

○成田教育総務課長

新型コロナウイルス感染症の影響など、変化のはげしい今日において、持続可能な社会の実現にむけ、教育行政においてもGIGAスクール構想をはじめ、児童・生徒・市民一人ひとりが前に進むための施策を実現していく。具体的には、小中一貫教育をさらに充実させるため、市内全小学校の高学年に教科担任制を導入し、併せて、児童・生徒の「確かな学力」と「豊かな心」をより一層育むため、教員の相互派遣や、児童・生徒の交流のさらなる推進を図るとともに、新たに「小中一貫教育基本方針検討委員会」を設置し、本市独自の小中一貫教育の在り方について議論を深めていく。児童生徒の基礎学力定着に向けた取組としては、中学校で「ベーシックサポート事業」、小学校で「スタディサポート事業」等を新たに実施する。教育相談体制においては、オンライン相談を運用して教育相談の充実を図り、「元気に育つ志木っ子条例」については、制定から5年目に入ることから、その効果を検証し、家庭教育を支援していく。生涯学習においては、「新しい生活様式」を取り入れ、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりに努め、あわせて、スポーツ振興においては、スポーツ・レクリエーションによる市民の生きがいづくり等を促進するとともに、施設の利用環境の向上を図っていく。

『重点施策1 「生きる力」を育む学校教育の充実』の主な具体的取組については、学力向上プランに基づく基礎学力の充実として、「ベーシックサポート事業」や「スタディサポート事業」等を、時代の変化に対応する教育の推進としては、全中学校区における小中一貫教育の推進等を行う。『重点施策2 小・中学校における教育環境の整備・充実』では、具体的には、志木小学校・いろは遊学館・いろは遊学図書館空調設備の設計及び改修、宗岡第二小学校体育館の大規模改修等に取り組んでいく。『重点施策3 生涯学習支援体制の充実と文化振興及びスポーツ施設の整備・活用』の主な具体的取組は、いろは遊学館及び宗岡公民館Wi-Fi環境の整備、コンビニエンスストア図書館資料返却等取次事業の充実、秋ヶ瀬運動場可搬式トイレの設置事業などである。

○岩澤委員

新しく始まるベーシックサポート事業について、県立志木高校と慶応志木高校に協力をお

願いしたと伺ったが、他にどのような学校に依頼する予定か、教えてほしい。

○**柚木教育長**

高校は、市内にあり、コミュニティスクールの関係でも繋がりのある2校にお声がけをしている。年の離れていない身近な高校生等に教えてもらうことで、中学生も話が聞きやすく、同時に話を聞くことで自分のキャリアを考えてもらう意図もある。高校以外では近隣の大学、とくに教育系の部門があるところをお願いしたいと考えている。

○**飯田委員**

小中一貫教育基本方針検討委員会を設置するとのことだが、どのようなメンバーを想定しているのか。

○**柚木教育長**

具体的にはこれから考えていくが、地域の方、学校関係者、学識経験者を考えている。

○**八代委員**

表記について、まず「あわせて」の表記が、漢字とひらがなの2パターンあるので、統一させたほうが良いと思う。次に『児童・生徒の「確かな学力」と「豊かな心」』については、従来から言われているので、あえてカギカッコで記載する必要はないのではないかと。また、『市内全小中学校』については、小中の中に点を入れる必要があると思う。

そのほか、「新しい生活様式」という単語が何度か出てくるが、一般の方が見たときに、言葉の意味の解説がないと、難しく感じてしまうのではないかと。

○**柚木教育長**

表記については検討する。新しい生活様式については、文字そのままの意味ではなく、コロナに関連した新しい生活様式という意味である。その意味で国も使用しているので、カギカッコをつけている。

○**飯田委員**

重点施策は、どこに向けて出すものなのか。

○**柚木教育長**

志木市教育委員会が重点的に取り組む事項として、ホームページをはじめ、広く公にするものである。他市町村も同様に作成し、公開している。

○**岩澤委員**

生きる力推進講師は、どのようなことをする職員か。

○**柚木教育長**

基本的には学力向上であるが、各学校でそれぞれ必要なことをサポートしてもらうよう

にしている。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

今、市で力を入れている算数の補助に入ってもらっていることが多い。

○八代教育長職務代理者

I C T機器を活用した授業の推進とあるが、情報モラル教育関係は、おそらく志木っ子条例の関係もあり、生涯学習の方の項目に記載されていると思うが、学校教育の方にも記載した方がいいのではないか。

○柚木教育長

学校教育の中でも実施しているので、記載については検討する。

○飯田委員

設置と設計の違いについて教えてほしい。

○成田教育総務課長

設計は、令和4年度に設計し、令和5年度に工事を行う予定のものである。設置は、令和4年度に工事して設置を行うものである。

◎その他

志木市民会館及び志木市民体育館再整備について

○浅見市長公室理事兼秘書政策課公共施設マネジメント推進室長

志木市民会館及び志木市民体育館再整備の一連の事業について説明する。はじめに基本計画についてである。昭和40年代を中心に公共施設等の整備を進めたが、年数がたち、施設の更新や維持補修に対する経費の増大が予想されることから、平成27年度に「志木市公共施設等マネジメント戦略」、平成30年度に「志木市公共施設適正配置計画～第I期個別施設計画～」を策定した。その中で、市民会館と市民体育館については、市民会館用地に複合施設として再整備することが最も望ましい手法であると評価し、志木市民会館及び志木市民体育館再整備基本計画策定検討委員会において、再整備の基本理念や基本方針、整備方針をまとめるとともに、議会の特別委員会からの意見書やパブリックコメントでいただいた意見をもとに、令和3年8月に基本計画を策定した。

次に、再整備基本設計候補者の選定についてである。選定に当たっては、志木市民会館及び志木市民体育館再整備設計候補者選定委員会を設置し、公募型のプロポーザルを実施した。なお、参加者はすべて匿名として審査を行った。その結果、最優秀者、設計候補者に株式会社石本建築事務所が選定され、令和4年1月26日に基本設計業務委託契約を締結したところである。

株式会社石本建築事務所の技術提案は資料のとおりである。「志木市らしいコンパクトな施設計画に考え方について」や、「それぞれの機能のあり方及び複合化についての考え方に

ついて」、「災害・環境配慮に対する考え方について」、「ライフサイクルコストの考え方について」の技術提案を受けている。

○飯田委員

防災拠点としての機能というお話があったが、学校のように防災グッズなどを備えることは考えていないのか。

○浅見市長公室理事兼秘書政策課公共施設マネジメント推進室長

隣の志木小学校に、避難所として防災グッズが備えてあるため、関わりを今後検討していく必要があるのではと考えている。なお、災害時には物資供給場所が必要であったり、水害時はいろは遊学館が災害対策本部となったりするため、避難所以外の災害対応の拠点としても、防災の担当と検討していきたい。

○飯田委員

今の市民会館は、大きな催しの際に大きなトラックが入っていたが、建て替え後の対応は大丈夫か。

○浅見市長公室理事兼秘書政策課公共施設マネジメント推進室長

トラックが停められる搬入口を設ける予定である。

オンライン協議会の内容について

○八代教育長職務代理者

2月10日に実施されたオンライン協議会だが、「地域と学校の連携・協働について」と「教育の情報化について」の分科会に参加した。「地域と学校の連携・協働について」については、北海道から九州まで、広く参加されていて、コミュニティスクールの導入等のお話も伺った。印象に残ったのは、家庭で頑張ることを親子で話し合っただけ、決めることができたなら「ペイ」という通貨をもらえて、通貨は楽しい活動やペイ紙幣と交換できるという取り組みで、来年度から導入するとのことだった。「教育の情報化について」は、参加した他の自治体では、かなり早くから進めておられると話されていた。子どもたちはタブレットにもすっかり慣れているとの話があるが、課題として出ていたのは、健康面への配慮、情報モラル教育、人的支援等である。そのほかにも、家庭への持ち帰り時の故障やネットワークトラブル対応等、運用面への支援が必要では、との意見が出た。

○岩澤委員

健康面の話題が出たとのことだが、視力のことか。

○八代教育長職務代理者

視力と姿勢である。

○上野委員

情報が膨大すぎて、手軽に手に入れられるようになった分、子どもたちが受け身になってしまい、自ら何かを得ていく行動が少なくなっていると感じている。今は修学旅行などの行事が少なくなってしまうが、身近でもいいので、タブレットを離れていろいろな経験をすることが必要だと思う。

事務局より、次回定例教育委員会の日程を確認する。

○柚木教育長

公開による議事は終了とし、これより非公開とする。

◎第3号議案 県費負担教職員人事の内申について

※第3号議案については、志木市教育委員会会議規則第19条第3項に基づき、審議結果を除き、公表しない。

第3号議案 県費負担教職員人事の内申については、原案のとおり可決された。

○柚木教育長

ほかになれば、これをもって令和4年2月定例教育委員会を閉会する。

教育長

会議録署名委員

(※署名は元本)